

平成 30 年度 第 1 回 近江八幡市子ども・子育て会議 要録

日 時 平成 30 年 9 月 21 日（金）午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分
場 所 総合福祉センター「ひまわり館」2 階 研修室
出席委員 ◎中川 千恵美委員、○小西 ひとみ委員、
田中 裕喜委員、石塚 智子委員、川橋 袖子委員、榑原 かず子委員、
伊藤 左登美委員、重野 弘樹委員、河村 加恵委員、杉本 僚子委員、
福永 利明委員、佐野 淳子委員、久家 昌代委員、前出 みずほ委員、
見島 めぐみ委員
（欠席）竹下 秀子委員、中江 栄理香委員、寺田 久乃委員、
元嶋 雅司委員、深尾 昌一委員、大野 康記委員
◎：会長等、○：副会長等

傍 聴 者 0 名

議 題 （1）子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
（2）次期計画の策定スケジュール等について
（3）地域特性の分析について
（4）ニーズ調査について
（5）平成 31 年度開園予定の認定こども園の利用定員について

決 定 事 項

2 カ年に渡って第 2 期計画を策定していくスケジュールを確認した。
平成 31 年度開園予定の認定こども園の利用定員について承認した。

議 事 詳 細

1. 開会

2. 会長あいさつ

（会議の開催にあたり会長よりあいさつ）

会長

6 月以降さまざまな自然災害に見舞われたが、改めて、つなぐ、受け止めるといった必要性を、近江八幡市内に住んでいるお子さんやご家庭に関わっていただいている中で、いろいろな思いを受け止めていただいていると思う。

子どもとその家庭の支援は、妊娠期、母子保健、子育て支援という状況、保育、初等教育、小学校、中学校、教育機関、また次代の大人になっていく状況から、その循環が回っていることだと思う。私たちの身近な生活の中で、皆さんが現場レベルで、「こういう繋ぎをしようまくいった」「自分たちの守備範囲かな」とかを考え直し、まだ制度化もされていない、現場レベルのつなぎなどが見える化され、より有機的なつながりが定着していければと思う。

3. 議題

(1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

(事務局より、子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について説明)

(説明概要)

重点施策の事業評価を中心に、児童福祉等の利用状況や進捗状況を説明した。

委員 発達支援の臨床心理士が4カ月間不在で、相談件数が少なくなっているとのことだが、資料4の評価を見るとA評価になっているが、何故か。

保育所の体制整備について、待機児童がゼロであればA評価だと思うが、今、仕事を探している段階は待機児童にカウントしないということであれば、そのあたりは十分ではないところもあるのではないか。

保育士等の確保について、就職フェアをしているが、放課後児童クラブ等も含め、全ての福祉事業になかなか人材が集まらない。最終的には人材派遣を通じて何とか確保している状況であり、A評価になっているのはどうか。

事務局 進捗状況の評価指標は、自己評価であり、どこまでできているのかという評価ではばらつきが出るため、実施したか、していないかといった観点でABCの評価を付けています。待機児童の件も、受け皿整備をしているという点でA評価をしていますが、今のような「十分ではない」という意見をいただくことで、不十分さを加えた評価をしていただけるとありがたいと思います。

委員 ここに出席している我々は理解できるが、「実施」「一部実施」「検討中」ということでA評価であれば、一般の方は「合格点だ」「もう十分に充足している」と認識を持つのではないか。待機児童はない、大丈夫という誤解を市民の皆さんに招くのではないか。今説明されたような注釈を付ける必要があると考える。

委員 本当に障がいの分野に関しては、まだまだ足りていないところが多い。一生懸命されているが、これから努力がいる部分だと感じた。

資料3「16. ひかりの子」だが、保育士が足りず受け入れが難しく、民間の発達支援事業に行かれる方が結構いると聞く。この部分に関して、民間に行かれている方も含めて発達支援を必要な子どもの人数把握がいるのではないかと思う。

事務局 児童発達支援事業は法定事業（利用契約制度）であり、障がい福祉課で支給決定しています。そのデータを使い、必要であれば人数の把握に努めていきます。発達支援が必要な子どもの数という意味では、発達検査の結果、保護者了解を得た中で、その発達段階の支援を、どれだけ必要で、どれだけ、どのようなサービスにつながるかということが、全体としては大事だと認識しています。

会長 発達検査を受け、その結果を保護者がどう受け止めるか、そういったプロセスから理解していく必要がある。実際、支援が必要な子どもの増減や、今後のニーズをどう拾っていくかについては検討が必要だと思う。

委員 資料3、20(2)②で、要保護児童の年齢構成別の内訳で、0～3歳未満、3歳～就学前児童、小学生まではずっと増えているが、中・高校生になると減っているが、確実に解決してなくなっているのか、要保護という意味で件数が減っているのか。

事務局 通告が多い低年齢では、身体的な虐待が多く、年齢が上がるにつれ、言葉を理解できるなど子どもの成長と共に全体的に虐待が減ってくる傾向があります。しかし、ネグレクトはなかなか解決しにくい問題があり、その子どもが残ってくるため、こういった年齢構成になっていると考えられます。また、子どもも大きくなると、親の力を乗り越えてくるというところもあり、自分からかい離していくという力もついてきて、解決しているところもあると考えられます。

(2) 次期計画の策定スケジュール等について

(事務局より、次期計画の策定スケジュール等について説明)

(説明概要)

今後、2カ年に渡って第2期計画を策定していくスケジュールを説明した。

会長 この後、今年度の取り組みとして、ニーズ調査票についてご意見をいただくことになる。このようなスケジュールで進んでいくことをご理解いただけたらと思う。

(3) 地域特性の分析について

(事務局より、地域特性の分析について説明)

(説明概要)

SWOT分析を用いて整理した近江八幡市の地域特性、現状、問題と課題について説明した。

委員 これまでも子どもの居場所づくり、学童保育の開設に取り組んでいるが、なかなか厳しい状況だと思う。今後はこういう対策で、こう道を切り開いていく、というような展望や言葉が聞ければ心強いと思う。また、今後は、量の確保とともに、やはり集団としても子どもたちの生活の場としても、落ち着いた生活ができる40人規模をめざしていく視点なども込めていただけたらうれしい。

委員 保育士不足に直面している。強みとして挙げられている家賃補助の制度はありがたいが、他市では市単独で処遇改善の補助金が出ていて、逆に、流れていっている。経済的な支援を考えただけであれば、違ってくるかと思う。横並びというわけでないが、少し考えただけだとありがたい。

会長 本当にこれは自治体間で競争になっており、取り合的な様相を呈している現状もある。保育士の確保に対して、いろいろな工夫を組み合わせながら取り組みをされているが、事務局としてどうか。

事務局 市全体の保育の量、質を上げていくためには、やはり保育士の確保は重要なことだと考えています。今年8月に就職フェアを開催させていただき、各園所に参加いただき、就職したい新人の方、今は離れているがまた働きたいという方に訪ねていただいた。今回のことを課題整理し、もう1回12月に実施させていただく予定をしており、さらに、公も民も含めて人材の発掘に取り組んでいきたいと思っております。

委員	<p>私も保育士の資格があるが、フルタイム8時間、週5日で働くとなると、すごく壁が高い。例えば、拘束時間を少し縮めてもらうなど働きやすい環境、柔軟な働き方があれば、もう一回保育士をやってみようと思う方は結構いると思う。「ひかりの子」でも、保育士が足りず並行通園が一時休止されたと聞いた。回転率が早いので、やはり、入られた方が継続して、続けられる環境整備が必要だとすごく感じた。</p> <p>弱みで「保護者の交流の場の提供」が書いてあるが、保護者交流の場がなかなか確保できていないから挙げられているのか。</p>
事務局	<p>保護者の交流の場については、子どもセンターなどの場はあるが、コミュニティセンターや、もっと身近なところで、保護者の方が歩いていけるような、気楽に行ける近いところでは交流の場が少ないという認識をしています。</p>
会長	<p>地域特性やニーズ調査を含め、現状というベースの上で、強みを生かし切れていない点、サービスが点在していることがいろんな課題につながっていると思うので、よりこの分析の精度を上げるうえでも、今後ご意見をいただけたらと思う。</p>

(4) ニーズ調査について

(事務局より、前半は調査方法等、後半はニーズ調査票について説明)

(説明概要／前半)

調査方法や調査対象、周知方法等について説明した。

委員	<p>生活動線の中にポストがないため、郵送法だけでは回収率は上がらない。保育園や幼稚園での回収は良い案だと思う。さらに、ショッピングセンターなど生活動線の中に回収箱があれば、回収率が上がると思う。</p>
委員	<p>学校で集めていただいたら、回収率が一番上がると思う。</p>
委員	<p>資料3「13. 親子プレイステーション事業」があるが、こういうところでの回収を入れた方が良い。すごく長い間ボランティアでやっていたので、もう少し評価していただきたいと思う。保護者の交流の場は、そこにもあると思う。</p> <p>郵送しか方法がないと思うが、先生たちから声かけをしてもらえると保護者は思い出すし、保育園や幼稚園に回収箱を置いてもらえると回収率は少し上がると思う。</p>
委員	<p>子どもが遊んでいる間にお母さんがアンケートを書くという時間を設けられたら良いのではないか。商品券などお礼があれば、すごく嬉しいと思う。</p>
委員	<p>郵送でも良いが、最近はインターネットでも返却できることが多い。スマホで回答できると、郵便局まで持っていく手間が省けるため、回収率が上がるのではないか。</p>
会長	<p>いただいた意見や工夫などを加味して、検討していただければと思う。</p>

(説明概要／後半)

国の指針、前回からの変更点等を踏まえ、ニーズ調査票(案)を説明した。

委員 ボリュームが非常に多いと思う。よく 50%の人が答えてくれると思う。これだけの量のものを宿題のように手間をかけていただくが、少しも変わらないということではいけない。「よくなったよね」という実感が伴うようなものにならないといけない。

新たに追加する設問C「お子さんとご家族等の状況」で、世帯収入の区割りは、貧困の範囲を参考に、もう少し大まかで良いのではないか。

会長 都道府県等がしている子ども貧困実態調査の区分は100万円単位が多いと思う。

委員 分量が多く、私なら書かないと思う。でも、反映されるなら一生懸命書くとする。近江八幡市の公園には遊ぶ遊具がないから子どもを外で遊ばせたくないという声を聞いたことがある。やはり、そういう声も活かしていかなければならない。

委員 提出期間が少し長いと思う。アンケートを回収するときは、あまり長く置くと、「まあいいや」となってしまうのではないかと思う。

委員 新たに追加する設問Hだが「4. 地域行事や町内の溝掃除等に積極的に参加、交流」とあり、他の1 2 3 5に対してハードルが高いような気がする。私自身は町内の溝掃除には参加していないが地域行事には参加しており、何を指すのか分かりにくい。

委員 12月には幼稚園や学校から評価アンケートが届くと思うので、できるだけ早めの郵送が良い。いっぱいになると大変だと思うので、その時期も考えた方が良い。

委員 育休取得の設問は、同じようなことを繰り返し聞いている気がする。もし希望する保育施設に入所できる場合、どの時期に保育施設を希望しますかという形にした方が分かりやすいという気がする。

委員 実際に利用している人が、そこが小規模保育施設か、家庭的保育施設か、分からずに預けている方もいると思う。具体的な施設の名前を書いたり、ファミリー・サポート・センターも「すくすく」という名前を書いたり、具体的に細かく書いた方が良い。答えるだけで必死のため、すぐに答えられるようにしてもらえると、時間短縮になる。

どれもサービスを消して「事業」にしているが、親は「園」や「施設」に預けていると思っているため、事業と書かれるよりも、分かりやすく聞いた方が良いと思う。

問7-1で「選択した方は」とあるが、いったい私は何番を答えたのかと、ペラペラめくって探すだけで時間がかかる。例えば「どこにも子どもを預けてない人に質問します」など、質問の仕方を工夫していただけるとありがたい。

「一定の利用料がかかります」があったが、利用料により利用するか、利用しないか、すごく大きな選択肢になってくるので、利用料金をどこかに書いてもらえると、答えやすいと思う。

委員 追加設問の「お子さんは日常的にみてもらえるか」は、最初に聞くべきだと思う。追加設問C(9)同居の世帯人員も、3ページに関連した質問があるので考慮すべき。

会長 前は外国籍の方も含め、ルビを振るということだったが、今回は文字の間隔などで特にルビをふっていない。答えづらい方のため、この調査についてのサポートがこういう部署で受けられますといった文面があればより丁寧と思う。

委員 このような対応で、ルビなしでいくということが良いか。次回までにレイアウト等を精査いただき、見やすくはなっているかと思う。

委員 意見書の用紙もあり、具体的なフィードバックをいただければと思う。

(5) 平成 31 年度開園予定の認定こども園の利用定員について

(事務局より、平成 31 年度開園予定の認定こども園の利用定員について説明)

(説明概要)

現在の認定こども園の整備状況と、平成 31 年 4 月開園予定の認定こども園の利用定員について、説明した。

会長

特に意見がなければ、平成 31 年度開設を目指し、この利用定員で設定するという
ことよろしいか。

(承認)

4. 閉会挨拶

(会議の閉会にあたり副会長より挨拶)

副会長

すごくタイトな中、協議することがたくさんあるが、次回 10 月 25 日の前に送っ
てくる資料は、整理されてくると思う。またその時にしっかり協議ができるよう、皆
さん健康にも気をつけて、お集まりいただけたらと思う。

閉会